# 国営施設応急対策事業　「刈谷田川右岸排水地区（耐震一体型）」の進捗状況

## 地区の概要

本地区は、新潟県のほぼ中央部、信濃川と刈谷田川及び五十嵐川に囲まれた三条市及び見附市にまたがる地域で、農地面積約3,700haの県内有数の水田農業地帯です。

この地域の農地は、広域的な排水不良に悩まされていましたが、国営刈谷田川右岸土地改良事業（昭和45年度～61年度）により、用･排水施設を完備した生産性の高い農地へと転換されました。

地区の最下流部に整備された刈谷田川右岸排水機場は、農地のみならず、宅地等を含めた地域全体の湛水被害の軽減にも貢献しています。

現在、生産性の高まった農地では水稲としつつ大豆及び野菜等を組み合わせた複合的な農業経営が展開されており、食料供給基地としての役割を果たしています。

## 事業の目的と必要性

刈谷田川右岸排水機場にある５台のポンプは全てモーターを動力源としております。
モーターを動かすための電力は、特別高圧受変電設備を経由して引き込まれていますが、
この受変電設備は設置後約40年が経過しており、メンテナンス部品の調達が困難になる等、稼働停止のリスクが高いため、リスク回避のための早めの対応が必要となっています。

このため、特別高圧受変電設備の更新を行い、併せて耐震化を一体的に実施する応急対策事業を実施することにより、排水機場の機能を保全し、農地を含めた地域の湛水被害防止を引き続き図り、農業の生産性や経営の安定に貢献します。

既設特別高圧受変電設備（設置後約40年経過）

平成28年より着工した本地区では、平成29年度コンクリート杭を打ち込む等の基礎工事を行うとともに特別高圧受変電設備の製作を進め、平成30年９月から据付作業、平成31年１月に切替作業を行い、新しい特別高圧受変電設備の供用を開始しました。

平成31年度は、旧受変電設備の撤去と周辺整備工事を行い事業完了となる予定です。

**基礎工の状況（地盤改良のためのコンクリート杭を打ち込みました）**

**据付の状況（引込鉄構、C-GIS、主変圧器を据付けました）**

**特別高圧受変電設備（完成写真）**